

CIGR(国際農業工学会)国際シンポジウム2011

持続的生物生産 ー水、エネルギー、食料ー

開催趣旨

21 世紀は人口増加や急激な都市開発など人為起源による全球的環境問題に直面しており国際農業工学会 (CIGR) は世界の関連する学術団体と連携しそれらの解決方策の研究と提言を行ってきています。本シンポジウムは、水、エネルギー、食料をテーマに農業生産に関する土地基盤、機械化、農作業、環境改善、IT、農業用ロボット、精密農業、生物環境調節、気象環境制御、バイオマス技術、遺伝子組み換え作物隔離栽培施設等々のイノベーション技術等の学問分野の研究発表とシンポジウム、記念講演などを世界各国の研究者や一般市民の参加のもとに行います。

水、エネルギー、食料についての開発途上国を含めた世界規模の調和を探索しつつ、世界農業を展望し、21 世紀の最先端の農業工学技術のさらなる発展・普及をめざし、我が国および世界の農業工学の発展に寄与し、持続的生物生産のための農業生産環境に焦点を当てることによって、人類に不可欠な安全・安心で高品質な食料の増産、水・エネルギーに関する農業生産環境保全等によって、農林水畜産業の発展を促進することを目的に開催いたします。上記の趣旨をご理解頂き、協力のほどよろしくお願いいたします。

日本学術会議 CIGR 分科会委員長

CIGR 国際シンポジウム 2011 組織委員会委員長

真木太一

開催概要

- 名 称：CIGR (国際農業工学会) 国際シンポジウム 2011
持続的生物生産 ー水、エネルギー、食料ー
- 主 催：
日本学術会議
日本農業工学会 (農業農村工学会、日本農業気象学会、日本農作業学会、日本生物環境工学会、
農業機械学会、農業施設学会、農村計画学会、生態工学会、農業情報学会)
国際農業工学会
- 後 援 (予定)：文部科学省、農林水産省、国土交通省、環境省、経済産業省、東京都
- 協 賛 (予定)：園芸学会、日本作物学会、農業システム学会、日本林学会、日本農芸化学会、
日本土壌肥料学会、日本熱帯農業学会、土木学会、日本建築学会、
日本気象学会、日本沙漠学会、その他
- 日 時：平成 23 年 9 月 19 日 (月) ～23 日 (金) [5 日間]
- 会 場：タワーホール船堀 (東京都江戸川区船堀)
東京都江戸川区船堀 4-1-1 TEL:03-5676-2501

■ プログラム：

平成23年	午前の部	午後の部
9月19日(月)	—————	参加受付
9月20日(火)	開会式・特別講演(市民公開)	記念講演、特別セッション
9月21日(水)	市民公開講座、見学ツアー	市民公開講座、見学ツアー
9月22日(木)	一般講演、ポスター発表	一般講演、ポスター発表
9月23日(金)	一般講演、ポスター発表	一般講演・閉会式

■ 参加予定：34ヶ国 2000人（一般市民を含む）

■ 記念講演・研究発表・市民講座：(予定数)

記念講演 7、研究発表 7セクション 500課題、ポスター発表 100課題
市民講座 4テーマ6講座

企業展示、企業発表等

■ 企業・研究機関、NPOなどの展示：

自然エネルギー、IT、環境機器、モニタリング計測機器、食料生産関連機器、農業機械
バイオ技術、水再生、水安全、施設園芸関連機器、食の安全などの展示

■ 企業発表：協賛企業の発表（30件）

会場内 発表ブース設置 1発表20分

■ CIGR 国際シンポジウム 2011 事務局・連絡先

〒305-8572

茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学生命環境科学研究科

北村 豊

TEL(FAX 兼用) :029-853-4655

E-mail : CIGR2011@agbi.tsukuba.ac.jp

■ 大会 WEB サイト

<http://www.cigr2011.org>

※国際農業工学会（CIGR, Commission Internationale du Genie Rural **仏語** / The International Commission of Agricultural and Biosystems Engineering **英語**）